

## ご挨拶

夏休みの季節が終わりを迎えても未だ残暑が厳しい毎日が続いておりますが、お元気で過ごしてでしょうか。図書館員の皆様におかれましては、来年からのジャーナル購読に向け、購読希望の調査や価格の確認など、そろそろ本格的に忙しい時期が始まる頃だと思います。私共も、コンソーシアムの説明会や購読代理店からのお見積り依頼など、これから年末に向けていわゆる業界の超繁忙期がまたやってくるのかと思うと武者震い（というよりも眩暈）さえ覚えますが、少しでもお客様のお役に立てるよう、できるだけ迅速でわかりやすい対応を心掛けていく所存です。

さて、Nature Publishing Group では、今年から来年にかけて新たに3誌の Nature 姉妹誌を刊行いたします。今年4月に創刊した *Nature Communications* は、オープンアクセスのオプションを有する Nature 姉妹誌としては初のハイブリッドオンラインジャーナルで、すでに様々な分野にわたる論文を数多く出版しています。また来年4月には、気象学に関する論文を集めた *Nature Climate Change* を創刊します。これは、気象変動や大気環境などの科学的観測に基づいた論文に限らず、地球温暖化がもたらす経済的影響などといった社会科学的なトピックも扱う NPG では初めてのジャーナルになります。さらに来年10月には、人工臓器や医療用ロボットなど、医用生体工学の分野に特化した *Nature Biomedical Engineering* も創刊します。ライフサイエンスとフィジカルサイエンスの融合といった、日本が特に優位に立つ科学分野のジャーナルを創刊することになり、NPG の中心的なジャーナルの一つのなることと期待しています。

もちろん既存のジャーナルに対しても、NPG ではより高質な論文を輩出するよう常に努めています。6月にリリースされた Nature の2009年インパクトファクターは、過去最高の34.480を取得し、評価対象ジャーナル誌の中で最多の被引用回数を記録しました。また、地球科学分野の姉妹誌、*Nature Geoscience* も、今回初めて取得するインパクトファクターが8.108となり、同分野の中で最もインパクトファクターが高いジャーナルとなりました。さらに学会誌においても多くのジャーナルが高いインパクトファクターを取得しており、*Journal of Investigative Dermatology* が15.049で皮膚科学分野のトップの座を守り、また、毎年インパクトファクターを伸ばしてきていた中国科学院上海生命科学研究院の *Cell Research* が8.151で、アジア・パシフィックのジャーナル誌の中で最高のインパクトファクターを記録しました。

さらに弊社ではカスタマーサポートの充実も忘れておりません。本年より、大学附属病院以外の病院 (non-teaching hospital) のお客様向けに、より病院に即した内容でサイトライセンス購読のアグリーメントを作成いたしました。また特に最近お問い合わせの多い電子情報資源管理システム (ERMS) との連携についても、本社と情報を密に交換しながらサポート体制を強化してきており、本誌今号のカスタマーサポートセクションでも nature.com とのリンク方法を解説しています。

本誌ではこれからも、サイトライセンスのお客様にとって興味深く役に立つ情報を配信していく所存です。ぜひ貴図書館の皆様でご覧ください。お客様のご意見、ご要望をお待ちしております。



遠藤昌克  
シニア・セールスマネージャー (日本/韓国)  
水木元太  
オンライン・セールスマネージャー  
加藤賢太郎  
オンライン・セールスエグゼクティブ



2010年9月末まで  
*Nature Communications* の  
全コンテンツを無料公開しています。  
詳しくは [こちら](#) をご覧ください。

## Contents

- ・ ご挨拶
- ・ スポットライト
- ・ カスタマーサービス：  
病院向けライセンスアグリーメント  
Open URL
- ・ マーケティングアップデート：  
インパクトファクター  
NPG ランゲージ・エディティングサービス
- ・ 2010年新規刊行 NPG ジャーナル
- ・ お問い合わせ

## スポットライト

# nature climate change

**Nature Climate Change:** 弊社では2011年4月、気候変動に関する研究論文をまとめた、*Nature Climate Change* を新たにリリースします。本誌は、気候変動のメカニズムを解明する科学論文はもちろんのこと、気候変動がもたらす経済的な影響や政治的観点などもカバーする予定で、NPGでは初めて社会科学系の論文も収録するジャーナルとなります。

本誌は、本年5月まで更新を続けていた無料オンラインジャーナル、*Nature Reports: Climate Change* から発展したジャーナルです。2007年6月から公開していた *Nature Reports: Climate Change* は科学界から非常に高い評価を得ており、最高で毎月約2万5千人のユーザーが当無料オンラインジャーナルを閲覧していました。*Nature Climate Change*

のチーフエディターには *Nature Reports Climate Change* を担当していた Olive Heffernan が就任することになり、厳正な査読プロセスを経たさらに質の高い論文が出版されることと期待されています。

*Nature Climate Change* は、気候変動や大気科学を研究する科学者に限らず、環境保護団体、エネルギー関連会社、自動車産業などにとっても興味深い研究内容を掲載していきます。また、気候変動にまつわる政策立案に従事する方々にとっても有益な情報を配信していく予定です。

※ *Nature Climate Change* トップページ  
[www.nature.com/natureclimatechange](http://www.nature.com/natureclimatechange)

※ 日本語ご案内サイト:  
[www.natureasia.com/japan/nclimate](http://www.natureasia.com/japan/nclimate)



## チーフエディター Olive Heffernan からひとこと



*Nature Climate Change* は、NPGが2011年4月に創刊する月刊誌で、現在準備が進められています。本誌には、全球的な気候変化の影響、その他広範な分野に及ぶ数々の影響に関する最も重要で最先端の研究を記述した質の高い研究論文が掲載されます。本誌は、NPGにとってエキサイティングな新事業です。その大きな理由は、本誌が、物理科学と社会科学にわたる原著論文を掲載し、学際的研究の構築、統合を目指している点にあります。

*Nature Climate Change* は、すべての *Nature* ブランドの定期刊行誌が築き上げてきた質の高い科学の伝統に従い、公正かつ厳格な論文査読過程、幅広い読者層への浸透、高水準の原稿整理とプロダクション、迅速な論文掲載、学界や既得権益からの独立性確保を通じて、気候変化に関連する全領域の一流の原著研究論文の出版に専心します。*Nature Climate Change* は、原著研究論文だけでなく、意見論文、分析論文も掲載して大学研究者間の議論の場を提供し、それに加えて、著名な科学ジャーナリストによる書き下ろし調査報道記事も掲載します。

本誌は、ジャーナル誌の内外で出版された研究論文に幅広い読者層がアクセスできるようにすること、気候変化に関連する研究コミュニティや主要メディアで気候変化研究の認知度を高めること、地球の気候変化に関連する複雑なメカニズムや影響を解明するという課題に直面する研究者や政策立案者(そしてその他の利害関係者)が議論するためのフォーラムを提供すること等の点で中心的な役割を果たしていきます。



**Nature Communications:** 本年 4 月、新たな Nature 姉妹誌として *Nature Communications* がリリースされました。本誌は、他の姉妹誌と比べても非常にユニークなジャーナルです。収録対象分野は *Nature* のように学際誌として多岐にわたり、植物科学や古生物学、天文学などといった *Nature* では通常あまりカバーされていない科学領域の論文も幅広く投稿を募っています。また、本誌は、News & Views や Research Highlight などは収録せずに査読論文のみを出版し、さらにプリント版は発行せずにオンラインでのみ出版するため、論文の採択から出版まで 28 日以内と高い速報性を保障しています。

さらに、本誌は、オープンアクセスのオプションを備えた *Nature* 姉妹誌では初のハイブリッドジャーナルで、著者自身が出版処理料金 (Article Processing Charge:

APC) を負担して論文を無料公開することができます。実際、8 月 10 日のアップデートまでに出版された 55 件の論文のうち約 4 割がオープンアクセスで出版されています。弊社では、所属研究者向けのオープンアクセスの APC が割引になる、法人向け年間メンバーシップのオプションもご用意しています。ご興味のある方はカスタマーサービスまでお問い合わせください。

現在、購読モデル、オープンアクセスに関わらず、全ての論文を本年 9 月末まで無料公開しています。この機会にぜひ貴機関の研究者の皆様にご案内ください。

※ *Nature Communications* トップページ  
(2010 年 9 月末まで無料公開中):  
[www.nature.com/naturecommunications](http://www.nature.com/naturecommunications)

※ 日本語ご案内サイト:  
[www.natureasia.com/japan/ncomms](http://www.natureasia.com/japan/ncomms)



**npg** nature publishing group **language editing**  
Premium science and medical editing

## 英文校正・編集

『NPG Language Editing』は、科学・医学誌に論文を投稿する著者に向けた、高品質の英文校閲サービスです。

Γλωσσική επιμέλεια αγγλικών  
英文校正・編集

مراجعة اللغة الإنجليزية

英语语言编辑服务

영어 교정

Revisión lingüística en inglés

Revisión lingüística en

2010年9月末まで  
全掲載コンテンツを  
無料公開!



## Nature Communications 創刊!

Nature Communications は、オンライン版限定の総合科学ジャーナルで、生物科学、化学、物理科学の全領域における質の高い研究論文を出版することを目的としています。本誌には、各分野のスペシャリストにとって意義深く、かつ重要な研究成果を示す論文が掲載されます。

### なぜ Nature Communications がユニークなのか

- Nature 姉妹誌で初めてのオンライン版限定出版
- 著者の費用負担による論文発表を採用した、初めての Nature 姉妹誌
- オープンアクセスコンテンツと従来の購読コンテンツが共存する、Nature 姉妹誌では初めてのハイブリッドジャーナル
- 1869 年の Nature 創刊以来、初めての学際的な総合科学ジャーナル
- 他の Nature 姉妹誌がカバーしていない研究分野にも対応

詳しくは、[www.naturejpn.com/ncomms](http://www.naturejpn.com/ncomms) にアクセスしてください。

サイトライセンス購読についてのお問い合わせ先：  
Email: [institutions@natureasia.com](mailto:institutions@natureasia.com)  
Tel: 03-3267-8769 Fax: 03-3267-8746

nature publishing group 



カスタマーサービスとして、はじめて3月と6月に大学図書館を訪問してきました。今回の目的は、NPG サイトライセンス カスタマーサービス全般や、利用統計レポート抽出方法などに関して、常日頃疑問に思っていることなどを簡単に意見交換することでした。各図書館でのエンドユーザー向けへのサービス案内方法や購読ジャーナルの管理方法 (Resource Management System) なども丁寧に説明していただき、大変参考になりました。これからもより良いカスタマーサービスの実現に努めてまいります。サービス内容に関しまして、ご不明な点などがございましたら、遠慮なくご連絡ください。



サイトライセンス カスタマーサービス

e-mail: [institutions@natureasia.com](mailto:institutions@natureasia.com)

Tel: 03-3267-8769

Librarian Gateway 日本語版 :

[www.natureasia.com/japan/libraries](http://www.natureasia.com/japan/libraries)

※ 利用統計レポート (MPS Insight) のログイン情報についてはカスタマーサービスまでお問い合わせください。

## サイトライセンス カスタマーサービス



竹内 優子  
セールスサポート  
オペレーション  
マネージャー  
(日本)



李 修伶 (イスイヨン)  
セールスサポート  
オペレーション  
エグゼクティブ  
(日本)



コンスタンス ユ  
セールスサポート  
カスタマーサービス  
エグゼクティブ  
(香港)

# Cell Research

celebrating a new milestone



- **2009 Impact Factor: 8.151\***
- **Ranked 21/161 in Cell Biology\***
- Research spanning cell and molecular biology
- China's leading journal in the life sciences
- Global recognition
- New international editorial board

**2005**  
Impact Factor  
**2.161\***

**2006**  
Impact Factor  
**3.426\***

**2007**  
Impact Factor  
**4.217\***

**2008**  
Impact Factor  
**4.535\***

**2009**  
Impact Factor  
**8.151\***

[www.nature.com/cr](http://www.nature.com/cr)

\*2009 Journal Citation Report (Thomson Reuters, 2010)

サイトライセンス購読についてのお問い合わせ先 :  
Email: [institutions@natureasia.com](mailto:institutions@natureasia.com)  
Tel: 03-3267-8769 Fax: 03-3267-8746

nature publishing group

# マーケティング アップデート

## インパクトファクター

6月17日にトムソン・ロイターから2009年版 Journal Citation Reports® (JCR) がリリースされたことに伴い、Nature Publishing Group は同24日、NPG ジャーナル誌のインパクトファクターに関するプレスリリースをホームページ上に掲載しました。その要約を以下にご案内いたします。

インパクトファクターは、ジャーナル誌の成功度を測る指標の1つに過ぎませんが、科学的インパクトの指標としては最も有力な指標であり続けています。

この6月に2009年度のインパクトファクターが発表されました。Nature のインパクトファクターは、これまでで最高の34.480に達し、同誌は、3年連続で、週刊科学ジャーナル誌ナンバーワンの地位を守りました。2009 Journal Citation Reports® (JCR), Science Edition によれば、Nature のインパクトファクターは、7347誌中第8位で、被引用回数では、JCR の評価対象となっているジャーナル誌の中で最多の483,039を記録しました。

Nature を筆頭とするNPGの強力なポートフォリオには、JCRの各分野で第1位のジャーナル誌15誌が含まれています。Nature と Nature リサーチ誌に投稿された論文原稿の90%以上は掲載不受理になっていますが、この過程によって、大量の投稿原稿の中から最もインパクトの大きな科学研究が選出されています。被引用回数の多さは、高い品質に対するコミットメント、そして編集の各段階で、社内の編集チームが論文の質を向上させるために払った努力を反映しています。

今年、Nature Geoscience が、初年度インパクトファクター8.108を達成し、Geosciences(地球科学)分野でナンバーワンのジャーナル誌となりました。また、Nature リサーチ誌のうち13誌のインパクトファクターが昨年より上昇しています。特に著しく上昇したのは Nature Biotechnology(29.495)、Nature Genetics(34.284)、Nature Materials(29.504)、Nature Nanotechnology(26.309)の各誌です。今年は、NPGのアカデミックジャーナル誌や学会機関誌も好成績をあげています。

特に Molecular Psychiatry は、心理学のジャーナル誌117誌中トップとなり、インパクトファクターは15.049に増えました。Journal of Investigative Dermatology は、インパクトファクター5.543で、皮膚科学のジャーナル誌48誌中トップの座を3年連続で守りました。また、Cell Research は、インパクトファクターを毎年伸ばしてきており、2009年のインパクトファクターは8.151で、アジア太平洋地域のジャーナル誌では最高のインパクトファクターを記録しました。国際微生物生態学会(ISME)の公式ジャーナル誌である ISMEJ は、2年目のインパクトファクターとして6.397を達成し、Ecology(生態学)分野で第5位となりました。NPGのアカデミックジャーナル誌・学会機関誌チームは、こうした結果に満足しており、各誌で最高レベルの品質を達成するために惜しみない努力を払っているNPGのすべてのパートナーと編集チームに感謝の意を表します。

プレスリリースの和訳版は、  
www.natureasia.com/japan/information/press\_release/20100712.php  
でご覧になれます。

The **mobile**  
**app** scientists  
have been  
waiting for



**Download now**

**nature.com**

## NPG ランゲージ・エディティング サービス

Nature Publishing Group は 2008 年 6 月より、研究者の皆様が質の高い英語を駆使して、最高クラスの研究を報告する論文執筆のお手伝いをするため、NPG ランゲージ・エディティングサービス (<http://languageediting.nature.com>) を開始いたしました。すでに多くの研究者の皆様から論文校閲のご依頼をいただいております。品質管理の上でも大きな成功を収めています。スタートから 2 年間で、世界 70 カ国の 1500 人以上の研究者にご登録いただき、すでに 3000 編以上の論文原稿の校閲依頼をいただきました。

NPG ランゲージ・エディティングは、質の高さ、柔軟な校閲オプション、明確な料金設定などの点で非常に高い評価を得ています。さらに、当社では品質保証制度を設けており、当社が論文原稿を校閲し、その校閲内容を誠実に反映させた上で投稿した論文原稿が、英語が理由で不受理になった場合には、NPG ランゲージ・エディティングは、その原稿の校閲を再度行わせていただきます。(ただし、これまでのところ、そのような事例は一度もありません。) また、当社では、校閲した論文原稿の英語が学術ジャーナル誌に掲載し得るほど高いレベルに達していることを証明するために、NPG Language Editing Certificate (NPG ランゲージ・エディティング証明書) を発行しています。この証明書は、1 回のみの校閲で学術ジャーナル誌に掲載可能なレベルに達した論文原稿のみを対象としています。そのため、すべての論文原稿に対して発行されるわけではありませんが、可能性はすべての論文原稿にあります。

お客様の中には、NPG ランゲージ・エディティングを、個人のクレジットカードや、PayPal (ペイパル)、または電信送金を使ってご利用いただくことが難しい方もいらっしゃるかと思います。そのため当社では現在、研究者の皆様が所属機関の図書館や研究事務局などを通して、より円滑に NPG ランゲージ・エディティングのサービスをご利用いただけるよう、法人向けサービスのご提供を検討しています。図書館や研究事務局にとっても、法人アカウントにお申込みいただくことで、所属研究者が費やした努力が「最良の学術ジャーナル誌での論文掲載」という、最高の方法で報われるようご貢献いただけます。

法人アカウントをご利用いただく場合、二通りの方法を検討しています。まず、Pay-Per-View のように一定の金額を前払いして「E チケット」を入手し、金額に応じて定められたサービスを利用する方式と、毎月利用量に応じて請求書を発行する方式で、いずれの方式でも料金は円で請求されます。なお、法人アカウントサービスは、2011 年から本格的に提供を開始する予定です。詳細については、弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。



nature.com  
The world's best science and medicine on your desktop

High quality publications  
Innovative technology  
Excellent service levels

Scientific Excellence Online

[www.nature.com/libraries](http://www.nature.com/libraries)  
E-mail: [institutions@natureasia.com](mailto:institutions@natureasia.com)

nature publishing group npg



ジェイソン ハナフォード  
インスティテューショナル  
マーケティングマネージャー



鹿島 麻実  
インスティテューショナル  
マーケティングアシスタント

## 2010年新規刊行 NPG ジャーナル



### Scientific American

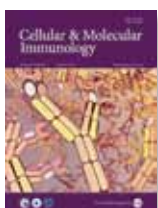
編集責任者：Mariette DiChristina  
ISSN：0036-8733  
インパクトファクター：2.471\*  
48 誌中 7 位 (Multidisciplinary Sciences)  
創刊年月：1845 年 8 月

米国で継続的に発行されている雑誌として最も歴史の古い Scientific American は、科学技術の発展に関する独自の見識を 160 年以上にわたって提供してきました。今日、本誌は比類なき信頼と権威を手にし、将来へさらに飛躍していきます。

Scientific American では、科学、技術、政策およびビジネスを総合的に扱っています。科学全般に関して新しいトレンドや問題を正確に指摘する専門的意見とともに、他のメディアがその重要性に気付いていないうちから、いち早く読者に貴重な情報をお届けします。Scientific American は、産業界と研究界との橋渡しをします。

各号では、ビジネスにとって重要な R&D に加えて、健康、宇宙、技術、生物学、心と脳、環境、社会と政策、エネルギー、一般科学など、幅広い分野をカバーする最新情報を掲載しています。

サイトライセンス購読をされている機関は、Scientific American、Scientific American Mind とすべての特別号にアクセスできます。  
[www.nature.com/scientificamerican](http://www.nature.com/scientificamerican)



### Cellular & Molecular Immunology

編集責任者：Xuetao Cao and Yongjun Liu  
ISSN：1672-7681 EISSN：2042-0226  
インパクトファクター：2.765\*  
128 誌中 63 位 (Immunology)  
創刊年月：2004 年

Cellular & Molecular Immunology (CMI) は、免疫学の基礎研究と臨床応用の両者を扱い、*in vitro* および *in vivo* における宿主の免疫応答の解明について最新情報と進展をお伝えします。本誌は免疫学に特化した中国における初の英語ジャーナルとして、中国および国際社会の両者において、同分野の最新研究成果を迅速にお届けします。

本誌は研究論文のほか、総説を掲載しています。取り扱っているテーマは、以下のような細胞および分子免疫学分野の全領域です。

- 臨床免疫学
- 比較免疫学
- 免疫生物学
- 免疫遺伝学
- 免疫学的技術
- 免疫病理学
- 免疫薬理学
- 感染免疫学
- 神経免疫学
- 移植免疫学
- 腫瘍免疫学
- 動物免疫学

[www.nature.com/cmi](http://www.nature.com/cmi)



### Nature Communications

編集責任者：Lesley Anson  
ISSN：2041-1733  
インパクトファクター：2012 年から評価予定  
創刊年月：2010 年 4 月

Nature Communications は、生物科学、物理科学、化学のあらゆる領域に関する質の高い研究を扱うオンライン限定の学際的なジャーナルです。各分野の専門家にとって意義のある重要な進展に関する論文を掲載します。

対象範囲は、生物科学、化学、物理学におけるネイチャー・パブリッシング・グループの得意分野を反映しています。また、発生生物学、植物科学、微生物学、生態学および進化、古生物学、天文学、高エネルギー物理学など、Nature 姉妹誌が扱っていない分野の投稿も募集しています。対象外とする分野はありませんが、特に、生物物理学、物理学、環境科学、数理生物学などの学際的分野の投稿を歓迎します。いずれの場合でも、論文には質の高さが求められますが、必ずしも Nature や Nature 姉妹誌に掲載される論文ほど広範囲にわたる科学的影響力をもつ必要はありません。

Nature Communications では、著者と読者の双方にとって効率的なサービスの提供に努めていきます。合理化された査読システムや編集諮問委員会のサポートにより、独立性を有する編集チームが、論文掲載の可否を迅速かつ公正に決定します。受理された論文は、機能的なオンライン出版プログラムにより、ネイチャー・パブリッシング・グループの幅広い読者層とそれ以外の読者にも迅速に提供されます。対話型ブラウジング、効率的なデータマイニングやテキストマイニングなど、革新的なウェブ技術が掲載原稿の価値を高めます。

[www.nature.com/naturecommunications](http://www.nature.com/naturecommunications)



### Polymer Journal

編集長：Toshikazu Takata  
ISSN：0032-3896 EISSN：1349-0540  
インパクトファクター：1.386\*  
76 誌中 35 位 (Polymer Science)  
創刊年月：1970 年

Polymer Journal は、高分子科学のあらゆる側面における世界中の研究を推進し、科学コミュニケーションのための総合的なプラットフォームを提供し、高分子科学と関連分野の発展に貢献することを目的としています。本誌には、短報を含む原著論文のほか、解説論文 (Notes)、総説などを掲載します。

本誌では次のような分野を取り扱っています。

- 高分子合成 および  
高分子反応
- 高分子構造
- 高分子物性
- 高分子表面 および  
高分子界面
- 機能性高分子
- 超分子ポリマー
- 自己組織化材料
- 生体高分子・  
バイオ関連高分子材料
- 高分子工学

[www.nature.com/pj](http://www.nature.com/pj)

# A world of research from nature publishing group

Nature Publishing Group

Catalog

日本語版

Scientific and medical excellence  
in print and online

 nature asia-pacific

Japan

NPG Nature Asia-Pacific

2-37 Ichigayatamachi

Shinjuku-ku, Tokyo,

Japan 162-0843

Tel: +81 (0)3 3267 8769

Fax: +81 (0)3 3267 8746

Email: [institutions@natureasia.com](mailto:institutions@natureasia.com)



For more details on Nature Publishing Groups  
full portfolio please visit [www2.nature.com/catalog](http://www2.nature.com/catalog)

次号は12月を  
予定しています。